



指揮
おおいしゅん
大井 駿

Shun Oi

©Great the Kabukicho

群馬交響楽団

クラシック・スペシャル

ピアノ
うしだともはる
牛田智大

Tomoharu Ushida

©Ariga Terasawa

これを聴けばあなたもクラシック通！な名曲コンサート

プログラム

ドビュッシー(ビュッセル編): 小組曲

ラヴェル:

ピアノ協奏曲 ト長調

チャイコフスキー:

交響曲 第5番 ホ短調 作品64

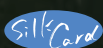
管弦楽

群馬交響楽団

2026 **9/23** [水]
[祝]

15:00 開演 (14:15 開場)

シルクホール



シルクカード
対象事業



オンラインチケットはコチラ →



全席指定 **3,500円** (会員 3,200円)
高校生以下 500円 ※未就学児入場不可

前売りのみ 先着200組様限定

お誘いあわせ
お得
キャンペーン

2枚 一緒に購入すると…… **1枚** **3,250円**
(会員 2,950円)

3枚 以上一緒に購入すると…… **1枚** **3,000円**
(会員 2,700円)

※1回の購入でまとめてご購入の場合に限りです。(追加購入の場合は適用になりません。)
※会館窓口でのご購入に限ります。会館以外のプレイガイドでは割引はありません。
※チケット郵送サービスあります。(郵送料500円+郵便振替料金が掛かります。)

【主催】桐生市、群馬県、(公財)群馬県教育文化事業団、桐生市教育委員会、(公財)桐生市スポーツ文化事業団 【後援】群馬県教育委員会、第50回県民芸術祭運営委員会

美喜仁桐生文化会館 営業時間 9:00~22:00(火曜休館)
(桐生市市民文化会館)

チケット
専用電話

0277-22-9999



主催:公益財団法人 桐生市スポーツ文化事業団 〒376-0024 桐生市織姫町2-5 TEL (0277)40-1500 FAX (0277)46-1126 <http://www.kiryu-piif.jp/>

Instagram

X

群馬交響楽団 クラシック・スペシャル

コンサートへの誘い

毎年9月開催の「県民音楽のひろば 群馬交響楽団クラシック・スペシャル」では、日本を代表する若き演奏家を積極的に紹介しています。

2026年は、ピアニストとしても活躍する気鋭の指揮者 大井駿 を指揮に、さらに日本の若手ピアニストの代表格として絶大な人気を誇る 牛田智大 をソリストに迎え、フランスとロシアの名曲を並べた魅力的なプログラムをお届けします。

前半は、ドビュッシーの繊細なピアニズムをデュッセルが色彩豊かなオーケストレーションで蘇らせた《小組曲》、そしてラヴェルの洒落とジャズのエッセンスが融合した《ピアノ協奏曲 ト長調》。牛田の透明感あふれる音色と鋭い感性に、乞うご期待！

後半は、チャイコフスキーの代表作にして、深い情感と劇的な構成美で聴衆を魅了し続ける《交響曲第5番》。これぞオーケストラの醍醐味、大井の明晰な解釈と群響の豊かなサウンドが、宿命の動機に貫かれた壮大なドラマを描き出します。



©Great the Kabukicho

指揮

おおい しゅん

大井 駿

Shun Oi

1993年東京都出身。幼少期を鳥取市で過ごす。2022年、第1回ひろしま国際指揮者コンクール優勝ならびに細川賞受賞。2025年、第21回ハチャトゥ

リアン国際コンクール指揮部門第2位ならびに古典派交響曲ベストパフォーマンス賞受賞。高校卒業後に渡欧し、パリ地方音楽院ピアノ科、ミュンヘン国立音楽演劇大学古楽科、ザルツブルク・モーツァルテウム大学ピアノ科・指揮科卒業、ならびに同大学指揮科・ピアノ科修士課程、パーゼル・スコラ・カントルム大学院フォルテピアノ科を修了。これまでに指揮者やソリストとして都響、読響、東響、日フィル、東フィル、大フィル、京響、群響、広響、アンサンブル金沢、広島ウインドをはじめ日本各地から招かれると同時に、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、マイニンゲン宮廷楽団、パリ警視庁吹奏楽団等と共演するほか、オーストリア国営放送ORF「Ö1 Talentbörse」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのメディアにも出演。音楽之友社Webマガジン「ONTOMO」にて連載をするなど、執筆活動も積極的に行っており、様々なフィールドを横断する稀有な若手音楽家として注目されている。



©Ariga Terasawa

ピアノ

うしだ とも はる

牛田智大

Tomoharu Ushida

2012年、クラシックの日本人ピアニストとして最年少12歳でユニバーサルミュージックよりCDデビュー。リリースしたCDは2015年「愛の喜

び」以降、続けてレコード芸術特選盤に選ばれている。デビュー後は、全国各地でソロリサイタルを行うほか、オーケストラとの共演も多く、シュテファン・ヴラダー指揮ウィーン室内管(2014年)、ミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管(2015年/2018年)、小林研一郎指揮ハンガリー国立フィル(2016年)、ヤツェク・カスピク指揮ワルシャワ国立フィル(2018年)、トマーシュ・ブラウネル指揮プラハ交響楽団(2024年)、アンナ・スウコフスカ=ミゴン指揮ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団(2025年)各日本公演のソリストを務めたほか、全国各地の演奏会で活躍。2024年からは室内楽プロジェクトも展開しており、意欲的な活動に更なる注目が集まっている。2018年第10回浜松国際ピアノコンクール第2位。2019年第29回出光音楽賞受賞。2025年第51回日本シヨパン協会賞。江副記念リクルート財団第53回奨学生。

群馬交響楽団

Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2025年度までに延べ656万人を超える児童・生徒が鑑賞した。

また2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。定期演奏会は2024年7月に第600回に達し、2025年に創立80周年を迎えた。



- 1966年「朝日・明るい社会賞」
- 1983年 文部大臣「地域文化功労者」団体表彰
- 1989年 第11回山本有三記念「郷土文化賞」
- 1994年「日本文化デザイン賞」
- 1995年「第4回日本生活文化大賞特別賞」
- 2003年 日本放送協会「関東甲信越 地域放送文化賞」
- 2017年「県民芸術祭40周年記念表彰」
- 2021年「サントリー地域文化賞」



●託児サービスあります。(未就学のお子様は、ご入場できません。)

※未就学児のお子様ひとりにつき300円(保険料を含む) 事前申込要(8月30日申込締切)